



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年7月9日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <https://www.bs11.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 玉井 忠幸
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 松友 大輔 (TEL) 03(3518)1900
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	8,851	1.2	1,326	△14.1	1,366	△12.8	921	△13.3
2025年8月期第3四半期	8,747	△3.5	1,544	△0.8	1,567	0.4	1,062	△1.3

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 921百万円(△13.3%) 2025年8月期第3四半期 1,062百万円(△1.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	51.68	51.60
2025年8月期第3四半期	59.65	59.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	26,872	24,812	92.3
2025年8月期	26,898	24,426	90.7

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 24,794百万円 2025年8月期 24,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,576	6.5	1,804	△6.6	1,888	△4.9	1,306	△2.9	73.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年8月期3Q	17,834,232株	2025年8月期	17,816,932株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年8月期3Q	238株	2025年8月期	237株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年8月期3Q	17,828,924株	2025年8月期3Q	17,816,695株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復の動きがみられました。一方で、先行きについては、円安による物価上昇や米国の通商政策、金融資本市場の変動、不安定な国際情勢の長期化等の影響による景気の下振れリスクに引き続き、十分注視する必要があります。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、動画配信サービス市場の拡大等で、ビジネスの機会が拡大する等、環境が大きく変化している中、テレビメディア広告費は、1兆7,556億円（前年比99.7%）となり、そのうち当社を含む衛星放送メディア関連の広告費は、1,223億円（前年比97.5%）となっております。一方、無料見逃し配信動画サービス等のテレビメディアデジタル広告費は、805億円（前年比123.3%）と大きく伸びており、放送のみならず、ビジネス機会を積極的に拡大していくことの重要性が高まっています。（「2025年 日本の広告費」(株)電通調べ）

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え 幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として中長期的な成長を実現するため、重点施策「Value（バリュー）4」を掲げ、「放送事業収入の最大化」「独自IPコンテンツの開発加速」「アニメビジネスの収益基盤拡充」「企業価値向上のための戦略的投資」をテーマに、放送事業に加え、配信事業やアニメ事業をはじめとした、その他の様々な施策に取り組みました。

【放送事業収入】

当第3四半期連結累計期間の放送事業収入は、7,468,761千円（前年同期比1.8%減少）となりました。

タイム収入は、競馬中継等の公営競技や持込番組のセールスが好調でしたが、引き続きショッピングカテゴリーが伸び悩み、前年同期比減収となりました。スポット収入は、コンテンツの強化・拡充及び日中帯ドラマを軸とした編成戦略の成果もあり、純広スポットを中心に好調で、前年同期比増収となりました。

重点施策「Value 4」における「放送事業収入の最大化」「独自IPコンテンツの開発加速」の下、コンテンツを中心とした投資を強化しており、下期は、女子プロゴルファーの飯島茜さんが大学ゴルフ部の女子選手の悩みを“アカネ式”レッスンで解決する『飯島茜のアカネ式！大学女子ゴルフ部』や、若手女子ゴルファーの登竜門ツアー『マイナビ ネクストヒロインゴルフツアー 2026』等、ゴルフジャンルを中心に、番組の拡充に取り組みました。日中帯を中心としたドラマ枠では、番組編成の新たな目玉として、4月より、国内時代劇『名奉行 遠山の金さん』、サスペンスドラマ「松本清張シリーズ」の放送を開始いたしました。中国時代劇や韓国ドラマ、ヨーロッパミステリーと合わせて、媒体価値の向上に向けたドラマラインアップの充実に取り組んでおります。

このほか、「ANIME+」枠では、『上伊那ぼたん、酔へる姿は百合の花』『転生したらスライムだった件 第4期』等、人気シリーズの新作から今話題の注目作品まで、製作委員会参画作品を含むアニメ関連番組を毎クール約40タイトル放送しております。

【その他事業収入】

その他事業収入は、1,382,783千円（前年同期比20.8%増加）となりました。オリジナル配信プラットフォーム「BS11+」やTVer等における配信事業収入、アニメ製作委員会からの出資配当収入が引き続き売上が牽引したほか、他社との協業も含めた各種イベント施策や新規事業の取り組みも寄与いたしました。特に、イベント事業では、5月に(株)エフエム東京、(株)プロデュースNOTEとの3社共同で日本武道館にて、宝塚のOGレジェンドスターらによる一夜限りの特別コンサート「TOKYO FM/ BS11 presents 昭和100周年記念 昭和ゴールデンHITS 100 in Orchestra」を開催。この大型イベントは、今後のイベント事業の更なる発展・成長に繋がる取り組みとなりました。このほか、「太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選 presents 第1回『太田和彦と呑もう会』 in 新潟県・長岡」や「『村井美樹と伊東潤のお城活TV』スペシャルイベント」等、番組のイベント展開にも注力いたしました。また、新規事業の領域においては、(株)壽屋との協業によるオンラインくじの取り組みを強化し、展開するアニメ作品数を積極的に拡充する等、今期の重点施策「独自IPコンテンツの開発加速」「アニメビジネスの収益基盤拡充」の下、放送だけに依らない、アニメ分野の事業領域の更なる拡大に向けた施策の強化・推進に引き続き取り組んでおります。

【費用】

今期は、放送事業収入の最大化及びその他事業収入の収益拡大に向けて、コンテンツを軸とした積極的な投資を推進しており、既存番組の内容強化や新規IPの開発、良質なアニメ作品の確保等に取り組んでおります。また、これらの投資の効果を最大化すべく、新聞広告やWEB広告を中心に宣伝活動にも注力しております。こうした取り組みにより、コンテンツ投資にかかる番組制作費や広告宣伝費が増加したことで、費用は7,524,632千円（前年同期比4.5%増加）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,851,545千円（前年同期比1.2%増加）となりました。営業利益は1,326,913千円（前年同期比14.1%減少）、経常利益は1,366,575千円（前年同期比12.8%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は921,332千円（前年同期比13.3%減少）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ25,453千円減少し、26,872,903千円（前連結会計年度末比0.1%減少）となりました。主な要因は、棚卸資産が240,636千円、投資その他の資産に含めて表示している投資有価証券が568,672千円、保険積立金が6,424千円増加したものの、現金及び預金が333,389千円、売掛金が225,926千円、有価証券が100,100千円とそれぞれ減少したことに加え、固定資産の減価償却が進み、有形固定資産が181,865千円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ412,188千円減少し、2,059,982千円（前連結会計年度末比16.7%減少）となりました。主な要因は、買掛金が51,546千円増加したものの、短期借入金が30,000千円、未払法人税等が249,451千円、流動負債のその他に含めて表示している未払消費税等が80,318千円、未払金が67,911千円、未払費用が39,257千円とそれぞれ減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ386,735千円増加し、24,812,920千円（前連結会計年度末比1.6%増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が、前連結会計年度の期末配当534,500千円により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益921,332千円の計上に伴い386,831千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想につきましては、2025年10月9日付の「2025年8月期 決算短信」で公表しました連結業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,988,777	13,655,387
売掛金	2,189,774	1,963,847
有価証券	299,918	199,817
棚卸資産	616,404	857,041
その他	128,466	118,097
流動資産合計	17,223,341	16,794,191
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,016,096	1,953,406
土地	4,034,756	4,034,756
建設仮勘定	9,130	—
その他(純額)	613,936	503,890
有形固定資産合計	6,673,919	6,492,053
無形固定資産		
	34,500	34,061
投資その他の資産		
投資有価証券	2,615,358	3,184,030
その他	351,237	368,565
投資その他の資産合計	2,966,595	3,552,596
固定資産合計	9,675,015	10,078,711
資産合計	26,898,356	26,872,903
負債の部		
流動負債		
買掛金	923,513	975,059
短期借入金	80,000	50,000
未払法人税等	385,229	135,778
その他	954,035	760,891
流動負債合計	2,342,777	1,921,729
固定負債		
退職給付に係る負債	109,772	118,231
その他	19,620	20,021
固定負債合計	129,392	138,252
負債合計	2,472,170	2,059,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,190,714	4,198,322
資本剰余金	3,524,504	3,532,112
利益剰余金	16,676,803	17,063,635
自己株式	△234	△235
株主資本合計	24,391,787	24,793,833
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	429
その他の包括利益累計額合計	543	429
新株予約権	33,855	18,657
純資産合計	24,426,185	24,812,920
負債純資産合計	26,898,356	26,872,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年9月1日 至2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年9月1日 至2026年5月31日)
売上高	8,747,797	8,851,545
売上原価	4,499,671	4,747,952
売上総利益	4,248,125	4,103,592
販売費及び一般管理費	2,703,314	2,776,679
営業利益	1,544,810	1,326,913
営業外収益		
受取利息及び配当金	13,663	29,804
受取派遣料	5,400	5,400
その他	4,313	5,672
営業外収益合計	23,377	40,876
営業外費用		
支払利息	159	1,137
その他	37	77
営業外費用合計	197	1,214
経常利益	1,567,990	1,366,575
税金等調整前四半期純利益	1,567,990	1,366,575
法人税、住民税及び事業税	529,525	456,094
法人税等調整額	△24,287	△10,851
法人税等合計	505,237	445,242
四半期純利益	1,062,753	921,332
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,062,753	921,332

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	1,062,753	921,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	198	△113
その他の包括利益合計	198	△113
四半期包括利益	1,062,951	921,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,062,951	921,219
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループには、BSデジタル放送事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	354,065千円	291,859千円